

「祝二十歳」おめでとうございます！

秋津川公民館区では男性2名、女性2名の計4名の方々が新たに二十歳となります。二十歳の皆様には、大人として思いやりと自覚を持ち、ふるさとや周りの方々を大切にする優しい心をより一層養っていただきたいと思ひます。

皆様方の今後ますますのご健勝とご多幸をお祈りいたします。



「毎日の食事がお口を救う！」口救レシピ 1・2月号発行！

今回の口救レシピは、「滑舌・舌」について考えてみました。舌は筋肉で出来ているのを知っていますか？筋肉はきたえなければおとろえます。舌がおとろえると滑舌や食べることに問題がでることも…舌をきたえる方法や正しい舌の位置などを紹介しています。



【おるり吉三物語】をご紹介します！（その3）

【おるり吉三物語】は秋津川に古くから伝わる炭焼き青年と町の娘の物語です。12月号の続きをご紹介します！（参考：紀州備長炭の歩み）

ある夜、吉三は美しい花園をさまよっていると美しい花に囲まれ片時も忘れたことのない懐かしい母の姿があった。母は吉三に向かいニコリと笑顔で立っているではないか。吉三は思わず「お母さん」と駆け寄ろうとすると、フッと母の姿が消え失せた。「お母さん」もう一度母を呼んだ、すると空の彼方から「吉三もう少し辛抱だがんばれよ、火穴と煙突の調整に気をつけよ」と言ったきり姿も見らず声も消えた。「待ってくれお母さん」大声で叫ぶと同時におるりにゆり起こされた。夢を見ていたのだった。ゆっくり起き上がって一部始終をおるりに話した。その夜は夢の出来ごとが頭から離れず、朝まで眠れなかった。翌朝早くから窯口にたち、ようやく火を入れた窯の操作に取組み、母が教えてくれた火穴、煙突を調整し進行を促した。三日目、着火した窯は調子よく煙は空に向かってふき出した。今まで体験したことのない勢いである。日がたつにつれて煙の色は白となり、一週間目には青まじりの煙となる。火穴を序々に拡大しつつ煙道は少し抵抗をかけた。火穴から窯の中を見ると炎が渦まいている。そして、炭材は真赤に輝いている。時折火穴から青い炎が音をたてて、噴き出して来る。今迄にない窯の中の状態に吉三は不気味にも感じた。一抹の不安さえ抱きながらの作業である。徐々に口石を取りながら精錬をかけ、少しずつ真赤な炭をかき出して炭をかぶせて消す。又少し間をおいて少しかき出す。この作業のくり返しである。窯の中を全部かき出した頃にはもう山はとっぷり暮れた。早く手にとって見たい炭ではあるが、とても熱くて触れないので翌朝まで待つことにし疲れた体を横たえて眠りについた。

（2月号につづく）

秋津川公民館報

令和5年
1月号

館長 赤松 昌典 主事 中野 旭

電話 35-1022 FAX 35-0569（上秋津農村センター内）

秋津川公民館区 人口及び世帯数（令和4年11月末現在）

人口 572人 男性 271人 女性 301人 286世帯



新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

町民の皆様方にはますますご健勝にて新たな気持ちで新春を迎えられたことと存じます。昨年中は公民館活動に対しまして協力委員様はじめ町民の皆様方から全面的なご支援・ご協力を賜りつつがなく無事終えることができました事に対しまして厚くお礼申し上げます。

昨年計画いたしました諸行事につきましては、皆様方もご承知の通り新型コロナウイルス感染症が未だ猛威を振るい、協力委員の皆様にもご相談いたしましてほとんどの行事を中止せざるをやむなしと決定いたしました。一日も早く終息することを願うばかりです。そして、皆々様と明るい笑顔でお会いできますことを願っています。

本年も微力ではありますが「わがまち秋津川」の明るく活気あるまちづくりに向け、歩んでまいり所存であります。今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

秋津川公民館長 赤松 昌典

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、小・中学校の教育活動に対し、保護者や地域の皆様より多大なご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。昨年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域行事が中止となり、児童生徒の活動を多くの地域の皆様に見ていただく機会は少なかったのが残念でした。しかし、小・中学校の発表会に多くの地域の方々にご出席いただいたり、「ウバメガシの森づくり事業」で秋津川の数十年後の未来につながる植栽体験をさせていただいたり等、子どもたちは秋津川地域の皆様に見守られながら健やかに成長することができました。

本年も小・中学校の職員一同、子どもたちの健全な成長を願い、地域の皆様と共に教育活動に励んで参りますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

皆様方におかれましても素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

秋津川小・中学校職員一同

《裏面へ続く》

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様には清々しいお気持ちで新年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、町内会活動に何かとご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

長い間、片側通行でご不便をおかけしておりましたが、昨年10月に上秋津バイパスが完成し、安心して通行できることとなり、秋津川に更なる希望の光が差してきました。当日は、道の駅において、ご尽力いただいた関係者の皆様に地域を挙げて御礼申し上げるとともに、皆様と共に喜びを分かち合えたこと、大変嬉しく思っています。また、12月には、真砂市長を先頭に関係町内会長と共に奇絶峡周辺における治山事業の早期完成に向けて、林野庁に要望に行っていました。

さて、今春、「全日本花いっぱい田辺大会」が開催されます。秋津川地区においても本年度から美化委員さんのご協力のもと、秋津川の玄関口である「ようこそ秋津川へ」の看板周辺やJA秋津川店駐車場、パイロット入り口周辺など各所に花を植えて管理いただき、地域の皆様や観光客の方々の心を和ませてくれています。地域の皆様にも積極的に花を育てていただき、コミュニケーションツールの一つになればと願っております。

皆様方の心にも花がいっぱいとなり、実り多き年となることを願い新年のご挨拶とさせていただきます。

秋津川町内会 会長 北川 佳子

新年のお祝いを申し上げます。

皆様方にはお揃いで新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中の御厚情を謝すとともに、今年も何卒よろしく願いいたします。

ご承知のとおり、新型コロナウイルスは今日に至るも未だに収束を見せておらず、振興会の事業全般に大きな陰を落としているとともに、昨今では都市部より地方にも感染症拡大が見られる兆しもあり、私達は事業活動の中でできる限りの努力と、来園者のご協力を得ながら、その対応の毎日です。

明るい話題といえば、県道川中ロバイパスが開通し、交通状況が一段と便利になったことです。この利便さを広く一般の方々にも知っていただき秋津川往来がより楽になったことを理解していただく方便を考えて、事業の拡大につながればと考えております。

今年も又、私達役職員全力を尽くし努力する所存であります。

何卒変わらぬ御協力と御支援のほどお願いいたします。

秋津川振興会 会長 大澤 晃

秋津川振興会 役職員一同

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、保育所運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染の影響で、昨年もいろいろな行事や活動が縮小されたり中止になったりしました。地域の皆様とのふれあいの場が少なくなっていることはさみしい限りです。けれども、散歩に出かけた折などには、優しく言葉をかけてくださり、また、お芋ほりやダイコン抜き、勤労感謝訪問など子ども達は活き活きと楽しい時間を過ごさせていただきました。地域の皆様の温かい輪の中で、子ども達だけではなく職員ともども常に支えていただき、見守っていただいておりますこと深くお礼申し上げます。

本年も地域に根ざした保育所を目指し、子どもたち一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな保育を進めていく所存です。昨年同様、何卒よろしく願い申し上げます。

県道の対岸に新しい道が開通したように、今年も皆様にとりまして幸多いよいお年でありますよう、そして一日も早く新型コロナウイルス感染症が収まり、みんなが自由にふれあえる生活が戻りますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

秋津川保育所職員一同

移動図書館 やまびこ号



1月18日(水)午前10時30分～11時 場所:秋津川小学校

※大雨警報・洪水警報・暴風警報・津波警報のいずれかが発表されている場合は巡回を中止することがあります。また、津波注意報でも巡回を中止することがあります。

※新型コロナウイルスの感染状況により巡回を中止することがあります。

来月の明るい笑顔街いっぱい運動



2月1日(水)

登校時間に通学路や自宅前で、子どもたちに「おはよう」の一声をかけていただきますよう、皆様のご協力をお願いします。

1月の古紙回収日(毎月第2・4火曜日)

1月10日(火)、24日(火)



◆回収日の午前8時30分～正午までに、秋津川連絡所前に出してください。

◆雑誌・新聞・ダンボールの3種類に分け、必ず紙ひもでくくって出してください。